

子どもの居場所

（子ども食堂）



子どもたちが安心して
過ごせる居場所

子どもの居場所は、家庭や学校の他に、子どもたちが安心して過ごせる場所のことで、誰でも気軽に利用できる場所です。

茅野市では、平成14年から、0歳から3歳の子どもと親の居場所として「子ども館0123広場」、中高生の居場所として「CHUKOらんどチノチノ」、また、平成15年以後、全10地区に地域の居場所として「地区こども館」を開設し、子どもの居場所を提供しています。

この他、地域の団体やNPO法人などによって提供されている子どもの居場所があります。全国的な子どもの居場所の広がりに合わせて、市内でも子どもの居場所を提供する活動に取り組む団体が年々増加しています。

今回は子どもの居場所を提供する活動を行っている団体の中でも、子ども食堂に取り組む団体をご紹介します。

子ども食堂とは

子ども食堂は、地域の子どもたちが、安心して過ごせる居場所、団体やボランティアの方が、低額または無料で栄養のある食事を提供したり、子どもや保護者と一緒に料理を作ってみるなど食育の活動をしています。使用する食材は、助成金や参加費、お弁当の

行きたい時に好きな場所で過ごす中で、多世代との交流や様々な体験を通じて、自主性やコミュニケーション力などを育み、たくましく、やさしい夢のある子どもに育つことを願っています。

また、子どもだけでなく、保護者の交流や相談の場としても使われていたり、活動に携わることがスタッフの生きがいの一つになるなど、地域の活性化にもつながっています。

ボランティアスタッフや 食材支援の募集

これらの活動は、多くのボランティアにご協力いただいています。多くの協力を必要としています。団体の方は、「一日だけでもご協力いただきたい。子どもたちと接すると元気をもらえます。」と話していました。

また、子ども食堂で提供する食材や生活用品、活動で使用する材料なども募集しています。畑でたくさん採れた野菜やお家に眠っている生活用品などがあれば、各団体に連絡ください。

子どもたちのために

子ども食堂はこれからも子どもたちにとってほっとできる場所で、美味しい食事を提供し、たくさんの方の体験できる居場所を提供しています。で、皆さんも気軽に子ども食堂を訪れてみませんか。



- 1 コミュ・きっちん天香
- 2 ぽこあぽこ
- 3 アトリエもも
- 4 ほんわか食堂 季の味
- 5 ボランティアグループえがお応援隊
- 6 Glück
- 7 檜の木会
- 8 クンジャビハーリー食堂

売上金などを使って調達しています。また、団体の方が自身で栽培したり、地域の方から寄附していただいた農作物や企業・長野県などから提供してもらった食材なども使っています。季節やその時期のイベントに合わせてさまざまなメニューが作られていて、取材をした時は、夏野菜を使った料理や七夕に合わせた料理などが振る舞われていました。コロナ禍の現在では、多くの団体がお弁当の配布を行っています。

子ども食堂での さまざまな取り組み

子ども食堂では、食事の提供に加えて子どもたちの豊かな人間性を培うための特色を持った居場所を提供しています。

諏訪東京理科大学の学生ボランティアや団体スタッフが宿題を教えてくれる「学習」の場、無農薬栽培の野菜や無添加の調味料などを使いながら、子どもや保護者と一緒にご飯を作って食べる「食育活動」の場、アトリエで行う自由創作や野外調理を組み合わせた「体験活動」の場、ポニーとのふれあい体験や森遊びなど子どもたちがいきいき過ごす「遊び」の場、学校に行きづらい子どもが足を運ぶ「子どもの成長を見守る」場などさまざまです。

活動に取り組む団体の皆さんは、子どもたちが、これらの特色ある居場所

子ども食堂を紹介します

活動の詳細は各団体にお問合せいただくか、QRコードからホームページをご確認ください。



Glück (グリュック)

場 学び舎Planus (茅野市玉川8509-1)
問 ☎090-2259-6209 Email:gluck.chino@gmail.com
他 保護者の相談に応じています。
「グリュック子どもカフェ」
日 毎月第1土曜日 時 10時30分～12時 ￥ 無料
「平日グリュック子どもカフェ」
日 毎月第1木曜日 時 11時～13時 ￥ 1時間/200円
「平日昼間の居場所」
日 毎週火曜日～金曜日 時 10時～14時 ￥ 1時間/200円
「平日放課後の学習支援」
日 要相談 時 1時間程度 ￥ 1時間/200円



ほんわか食堂 季の味

日 毎月第3金曜日 時 16時30分～18時30分
場 ゆいわーく茅野 (茅野市塚原2丁目5番45号)
内 食育に力を入れた活動を行っています。
無農薬栽培の野菜、無添加の調味料などの食材を使っ
たお弁当を配布しています。(要予約)
¥ 小学生未満…無料、小・中学生…100円、
高校生以上…300円、大人…500円
問 ☎080-5439-8988 Email:honwakakinomi@gmail.com



両久保子どもカフェ

日 毎週水曜日 時 15時30分～18時
場 両久保公民館 (茅野市宮川両久保5010-106)
内 両久保区の子どもたちが、学習や遊びを通して、多世
代交流を行っています。
※コロナ禍のため、現在休止中です。
対 両久保区の子どもたち
¥ 無料



ぽこあぽっこ

場 夢科ポニー牧場 (豊平市東嶽4734)
問 ☎090-3442-0178 Email:pony.kids.pokoapoko@gmail.com
他 「牧場カフェ」
日 月1回 (土曜日) 時 10時～12時
内 野外料理体験や工作、ポニーとのふれあい体験などを
します。
¥ こども…無料、大人…500円
「ゆるぽっこ」
日 毎月第3木曜日 時 15時～16時30分
内 ポニーとのふれあい体験や森遊びなどをします。
対 小学生以上 ￥ 500円



コミュ・きっちゃん天香

日 毎週木曜日 時 16時30分～19時
場 かいふ天香 (茅野市ちの3053)
内 お弁当と一緒に食材や生活用品も配布しています。
(要予約) 学習支援や家族・子育てについての相談も
行っています。
¥ 子ども…なんでもワンコイン (1円玉から500円玉)
大人…500円
問 ☎0266-55-6088 Email:c.k.tenka@gmail.com



ボランティアグループ えがお応援隊

「みんなでごはんinえがお」
日 毎月第2土曜日 時 11時15分～11時45分
場 茅野市中央公民館 (茅野市宮川4552-2)
内 お弁当と一緒に食材を配布しています。
¥ 子ども・理科大生…無料、大人…300円
問 ☎0266-72-7708

《団体情報のアイコンの見方》

食材 フードドライブなどから提供された食材の配布
配布 学習 理科大生ボランティアや大人のスタッフによる学習支援
支援 遊び 外遊びや創作活動
体験 食事 一緒に作ってみんなで食べるorお弁当配布
提供

日 活動日 時 時間 場 場所 内 活動内容
¥ 料金 対 対象 他 その他 問 問合せ



アトリエもも

場 荒神の古民家 (茅野市玉川神ノ原4233)
問 ☎090-2473-2703 Email:ateliermomo@gmail.com
他 「こどもアート食堂」
日 毎月第3土曜日 時 10時～13時
内 野外料理体験やアトリエでの自由な創作活動を行います。
¥ こども…無料、大人…500円
「こどもアトリエもも」
日 毎月第4木曜日 時 13時30分～17時30分
内 アトリエで自由に創作活動を行います。
¥ こども…無料、大人…500円



クンジャビハーリー食堂

日 不定期 時 16時30分～18時30分
場 荒神の古民家 (茅野市玉川神ノ原4233)
内 手作りのベジタブルメニュー (乳製品は使用) をイン
ドの讃美歌「キールタン」を歌ってからいただきます。
親同士や子ども同士、スタッフと会話をします。
小学生以上は子どもだけの参加可能です。
¥ 子ども…無料、大人…500円
問 ☎090-3540-0694



櫨の木会

「どんぐりカフェ」
日 毎月1回 (不定期) 時 11時30分～12時
場 茅野市内各地区コミュニティセンター (巡回開催)
内 お弁当と一緒に食材を配布しています。
¥ 子ども…無料、大人…300円
他 コロナ禍のため、学習支援、遊びは中止です。
問 ☎0266-73-7644 (平出)

子どもたちは地域の宝物

子どもの居場所活動や子ども食堂活動は多くの人の支えによって行われています。実際に活動している方たちと食材提供による活動支援をしている方に、お話をお聞きしました。



アトリエもも
代表 鈴木 真知子さん (左)
代表 西川 直子さん (右)



ボランティアグループ
えがお応援隊
代表 伊藤 玲子さん



株式会社テンホウ・フーズ
代表取締役社長
大石 壮太郎さん

アトリエももは2020年にオープンし、年齢や障がいの有無を超えて、誰でも参加できるアトリエを行っています。また、地域の中で子どもの居場所のニーズがあること知り、昨年からは新たに子どもの居場所活動を始め、アトリエでの自由創作や野外調理体験などを行っています。

子どもたちには、いろんな人や生き方を知ってほしいので、創作や体験を通じた交流にこだわって活動をしています。「これを作りましょう」とこちらから提供するのではなく、ゼロから自分で考えて生み出すことも大切にしています。

活動を通してたくさんの子どものために出会えて話ができたと、継続して来ている子どもたちが、できることが増えていたり、お互いに声を掛け合ったり仲間同士で何かを始めたり、子どもたちがお互いに刺激しあって輪ができていくということが楽しいです。

アトリエは難しいものだと考えず、気軽に参加してほしいです。たくさんの方の素材とさまざまな材料、そして楽しくくらしの体験を用意してお待ちしています。

ボランティアグループえがお応援隊は、茅野市子ども福祉教室「四葉」と諏訪東京理科大学の学生ボランティアと共催で子どもの居場所活動を行っています。

子どもと一緒に「飯を作って食べたり、ミニイベント、大学生による学習支援などの活動を行っています。現在はコロナ禍のため、子どもたちや理科大生へお弁当の配布をしています。

活動の中で、子どもたちから「ありがたい」「美味しかった」と聞くと、うれしく思います。また、顔を覚えてハイタッチしてくれる子どもを見ると元気をもらいます。大学生の笑顔で頑張っている活動に関わってくれる姿は、とても頼りになります。

今後は、地域の宝物である子どもたちに先人から受け継いだ知恵や知識を伝えていく活動もできたらと思っています。

子どもの居場所は、まだまだ足りないと思うっており、子どもたちが集える場所が、あちこちにできることが願いです。もっと子どもたちの居場所の輪が広がってほしいです。

テンホウでは、長年、子ども食堂にお店でも人気のぎょうぎを焼き立てでお届けする支援をしています。また、子ども食堂で使う食材の保管場所に当社の冷凍庫を提供しています。

普段からお客様としてお店を支えてもらっているの、子ども食堂などを支援し、地域や社会に貢献して欲しいという思いから支援を始めました。

子どもたちが絵をかくてくれたり、「テンホウ行ってるよ」とか「テンホウの餃子おいしかったよ」とお話をしてくれる時は嬉しいです。また、子ども食堂の支援をしていることを誇りに思ってくれる従業員も増えています。

子ども食堂の支援は、業種に関わらず、多くの事業者にも関わってほしいと考えています。子ども食堂、観光イベント、街づくりなど、もっとみんなで関心を持って応援し合って社会のために活動することが、結果的に自分の会社の従業員も住みやすく、明るい未来が見える街づくりに繋がると思っています。子どもの未来を育てる仲間を増やしていきたいです。

活動紹介動画を配信しています

茅野市公式インターネット動画サイト「ビーナネット Chino」では子どもの居場所活動の動画を配信しています。



←ご視聴はこちらから！

ボランティアスタッフや食材支援などを募集しています



子どもの居場所活動を行っている団体では、活動と一緒にしてもらえらるボランティアの方や子ども食堂で提供する食材・生活用品 (服など) などを募集しています。

一日だけのお手伝いでも大歓迎です。興味のある方は各団体へ直接ご連絡ください。